

令和3年度は小学生24名、中学生20名が入学しました。
 入学式は、新型コロナウイルス感染防止のため、対策を徹底した上で規模を縮小し実施しました。
 入学からはや3ヶ月が経ち、緊張感もほぐれ楽しい学校生活を過ごしています。

奥多摩の教育

第224号
発行

奥多摩町教育委員会

令和3年6月1日現在

児童数 148名
 生徒数 67名
 教職員数 48名



奥多摩中学校



古里小学校



氷川小学校



地域の誇りとなる学校へ



氷川小学校
校長 松井 良

新緑の美しい山並みを望みながら出勤する毎日に、清々しさと奥多摩の地に赴任できたことの喜びを感じています。先日、転入者向けの研修で、半日かけて奥多摩町を巡りました。半日では全て見て回ることはできないくらいの広い学区に驚かされ、遠くから時間をかけて登校してくる子どもたちの逞しさを実感しました。自然や人との関わりが豊かなこの奥多摩に生まれた「地域の宝」である奥多摩の子を、預かり鍛えていくことへの責任の重さを感じ、先の見えない時代を生き抜く力強さを身に付けさせなければならぬという使命感を強くもちました。地域に愛され、信頼される学校づくりに力を尽くし、奥多摩の教育に貢献できるように精進してまいります。

経験の集大成をこの奥多摩で



奥多摩中学校
校長 西村 元一

今年度から、奥多摩中学校校長を拝命いたしました、西村元一と申します。青梅市立第一中学校から異動してまいりました。専門は数学で、キャリア教育や総合的な学習の時間等にも力を入れてきました。また、サッカーの指導では、中体連サッカー技術部員として、東京都選抜チームの指導に関わっていたことでもあります。今までの経験の全てを奥多摩中学校のために活かすとともに、奥多摩中で実践している全員支援教育やICTを活用した指導、地域に根差した協働的な学習などの取組から学ぶ姿勢をもって、職務を遂行していく所存です。郷土を愛し、郷土を支えていく、自立した社会人の育成に全力を注いでまいります。どうぞよろしく申し上げます。

令和3年度 教職員の人事異動がありました

令和3年4月1日現在

| 学校名 | 転出者 | | | 転入者等 | | |
|--------|-------|-------|------------|--------|------------|---------------------|
| | 担当 | 氏名 | 新任校等 | 担当 | 氏名 | 前任校等 |
| 古里小 | 4年生担任 | 成宮 慶有 | 品川区立伊藤学園 | 3年生担任 | 大塚 優一 | 小平市立鈴木小学校 |
| | 養護 | 峰岨 孝子 | 退職 | 養護 | 池田 祐子 | 日の出町立大久野小学校 |
| | - | - | - | たんぼぼ担任 | 手塚 陽介 | 八王子市立浅川小学校 |
| | 事務 | 小鷹 二郎 | 退職 | 事務 | 海老澤 駿輔 | 教育庁地域支援部義務教育課健康推進担当 |
| 氷川小 | 校長 | 松下 静徳 | 退職 | 校長 | 松井 良 | 福生市立福生第六小学校 |
| | 2年生担任 | 返町 保治 | 退職 | 2年生担任 | 富永 耕生 | 中野区立北原小学校 |
| 奥多摩中 | 校長 | 花輪 潤一 | 退職 | 校長 | 西村 元一 | 青梅市立第一中学校 |
| | - | - | - | D組担任 | ほらぐち 洞口 聖子 | 武蔵野市立第四中学校 |
| | 事務 | 原島 康明 | 退職 | 事務 | 佐藤 広明 | 調布市立第七中学校 |
| 給食センター | 栄養士 | 渡邊 梨菜 | 西東京市立住吉小学校 | 栄養士 | 名取 望 | 日野市立日野第三小学校 |

◎氷川小の中田麻紀教諭の育休代替で、藤田麻美教諭が着任されました。

素敵な古里小学校

古里小学校 池田 祐子

以前、奥多摩町を訪れた時に、いつかこんな素晴らしい自然に恵まれた小学校で働いてみたいなど思いました。今回、その夢が叶い奥多摩町で働くことができ、とても嬉しく思っております。

まだ働いて2か月しかたっていませんが、朗らかな子どもたち、学校を力強くサポートしてくださる保護者の皆様、全力で子どもたちと走り回る教職員、と魅力たっぷりの古里小学校が大好きになりました。子どもたちが元気で健やかに成長できるように力を尽くします。どうぞよろしく願います。

奥多摩ならではの学習

古里小学校 大塚 優一

奥多摩町に赴任して、2か月余りが経ちました。古里小学校では社会科や総合的な学習の時間に、奥多摩の自然を生かした地域学習をしています。先日は、

子どもたちと一緒にしたいのコマ打ちや、わさびの植え付けを体験しました。実体験することで図書資料だけでは得られない貴重な気付きがうまれます。

今後も、子どもたちと共に奥多摩の魅力を見付け、共に学びを深めていくことを楽しみにしていきます。

奥多摩の自然と共に

古里小学校 手塚 陽介

八王子市立浅川小学校から異動してきました。以前の学校では高尾山が学区内にあり、自然に触れ合う機会が多くありました。今回の異動では奥多摩で働けることになり、さらに雄大な自然に囲まれながら、子どもたちと学べることを楽しみにしています。

コロナ禍で厳しい中ではありますが、地域の皆様と一緒に、学校が楽しく学べる場であるように努めていきます。これからどうぞよろしく願います。

初めての奥多摩・学校現場

古里小学校 海老澤 駿輔

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課から異動してきました。本庁の前は伊豆諸島の三宅島にいたので、海から都心、そして山々が美しい奥多摩と東京都のさまざまな場所で働いてきました。

教育庁の行政職員として働く中で、学校現場で働いてみたいと強く思い、自然豊かな古里小学校への赴任が決まり、とても嬉しく思いました。

初めての奥多摩町、初めての学校現場での勤務と、日々慣れないことが多く、暗中模索で職務にあたっていますが、子どもたちのために真摯かつ本気で向かい合っている教職員を全力でサポートし、子どもたちが、より良い環境で学習できるようにバックアップをしていきたいと思えます。

奥多摩で共に学ぶ

氷川小学校 富永 耕生

中野区の小学校より氷川小学

校に転任してきました。緑の山々を眺め、鳥のさえずりを聞きながら澄んだ空気を胸いっぱい吸い込む、贅沢な時間を過ごさせていただいています。

東京一の豊かな自然に恵まれた奥多摩の地で、地域に温かく見守られて成長している、素朴で素直な心をもった子どもたちと共に学べることを嬉しく思っています。この環境だからこそできること、付けさせていかなければならない力とは何かを問いかけながら、自身が学び、地域に溶け込んで、日々励んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

氷川小学校に着任して

氷川小学校 藤田 麻美

産休育休代替の音楽専科の、藤田麻美(ふじたあさみ)と申します。肌寒さを感じた新緑の時期から着任して2か月が過ぎ、もうすぐ二つ目の季節を迎えようとしています。氷川小学校の音楽室から見る山々の緑の濃淡、空の青さ、雲の白さ、様々な鳥の鳴き声、また雨や風の音。こ



の豊かな環境で育ってきた子どもたちはとても素直で明るく、そんな子どもたちに幸せを感じて過ごしています。奥多摩を愛する熱意あふれる教職員と地域の方々と連携して、子どもたちと豊かな音楽性を育んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

自然に恵まれたこの地で
奥多摩中学校 洞口 聖子

このたび奥多摩町立奥多摩中学校に赴任いたしました、洞口聖子と申します。

3月までは武蔵野市で勤務していましたが、奥多摩町に来てまず驚いたことが、美しい自然と、木々の香りでした。景色を見ながら空気を吸い込むと、全身が澄んでいくような気持ちになりました。この豊かな自然に育まれた生徒たちと過ごす日々が、期待しています。

教員として今年度で7年目を迎えます。今までに得た知識や経験をこの地で活かせるよう努めてまいりますので、よろしく

お願いいたします。

よろしくお願いたします
奥多摩中学校 佐藤 広明

今年度から奥多摩町立奥多摩中学校の事務室に着任した佐藤広明と申します。

以前から奥多摩の教育に興味があり、機会があれば一度は奥多摩で仕事がしたいと考えておりました。

異動の混乱や、通勤時間が2時間弱かかることもあり、現時点ではまだ奥多摩のことはあまりよくわかっていませんが、第一印象としては教育に力を入れている自治体という印象を受けました。そのため、学校や関係機関が幅広く業務に対応することになりそうで、やりがいと不安感がありますが頑張っていきたいと思えます。

給食に想いを込めて
奥多摩町学校給食センター
栄養士 名取 望

日野市立日野第三小学校から異動してまいりました、名取望

と申します。

美しい自然に囲まれた学校給食センターで、奥多摩町の子どものために給食を提供できることを大変嬉しく思います。

奥多摩町の給食では、センター方式でありながら、手作りを大切にし、バリエーション豊かな給食を提供していることに感銘を受けました。学校給食センターは学校から離れたところにありますが、給食に想いを込めて、給食センターの方々と安全で美味しい給食が提供できるように努めたいと思えます。

奥多摩は格別です
スクールソーシャルワーカー
楠見 潔

今年度から、スクールソーシャルワーカーとして勤務することになりました、楠見潔と申します。3月まで相模原市の中学校教員として、特別支援学級の子どもたちと一緒に学んでおりました。

ハイキングが趣味でよく里山を散策しておりますが、駅を降りて5分も歩けば豊かな自然に

出会うことができる奥多摩は格別です。1か月に1回程度、各小中学校をまわりながら子どもたちの様子を見させていただいておりますが、子どもたちの健康やかな成長に少しでも貢献できたらと思っております。よろしくお願いたします。

奥多摩町の一員として
スクールソーシャルワーカー
堀部 浩子

はじめまして。今年度から着任しました、堀部浩子と申します。奥多摩町の一員として働くことができ、とても嬉しく、新鮮な毎日です。子どもたち、及び、周囲の皆様が抱く日々のもやもやした気持ちや困り感を、私たちスクールソーシャルワーカーが聴き取り、話をするを通して、一人ひとりが今よりもっと心地よく生活するにはどうしたらいいかを、共に考えますが、まだまだ半人前ではありますが、奥多摩町のために日々誠実に職務に励んでまいります。よろしくお願いたします。

図書館より 新しい本のご紹介

一般書

白鳥とコウモリ

東野 圭吾 著 幻冬社

初詣で 照降町四季(1)

佐伯 泰英 著 文藝春秋

曲亭の家

西條 奈加 著 角川春樹事務所

野菜まるごと冷凍レシピ

沼津 りえ 著 主婦の友社

散歩で見つける薬草図鑑

家の光協会

児童書

はりねずみのルーチカ

北見 葉胡 絵 講談社

あおぞらごども食堂はじまります!

いとうみく 作 ポプラ社

うさぎタウンのおむすびやさん

小手鞠 るい 作 講談社

教育委員会の動き

(令和2年11月～令和3年4月)

- ◎11月定例会(11月26日)
 - ・議案第28号―専決処分承認を
求めることについて(奥多摩町
立学校区域外就学の承認につい
て) 他協議事項1件
- ◎12月定例会(12月23日)
 - ・議案第29号―専決処分の承認を
求めることについて(令和2年
度児童の教育課程について(届)
◎1月定例会(1月13日)
 - ・教育長報告・教育課長報告他
 - ◎2月臨時会(2月8日)
 - ・議案第1号―教育委員の辞職の
同意について他1議案
 - ◎2月定例会(2月26日)
 - ・議案第3号―専決処分の承認を
求めることについて(令和2年
度児童の教育課程について(届)
他8議案
 - ◎3月定例会(3月24日)
 - ・議案第12号―奥多摩町社会教育
委員の委嘱ついて他1議案
 - ◎4月定例会(4月28日)
 - ・議案第14号―専決処分の承認を
求めることについて(指定学校交
更申立の承認について) 他2議案

教育相談室より

マスク越しの笑顔

相談員 原島 富子

「やったね!」「うわあかっこいい」「できたね」・・・そんなほめ言葉や「がんばろうね」「できるかな」「よかったね」などのちよっとした優しい言葉かけは、マスクをしていても笑顔が伝わるよい方法ではないでしょうか。子どもたちの笑顔は本当にかわいくて見ているこちらもうれしくなります。笑顔は周りの人をしあわせにしてくれます。マスク越しではありませんが、たくさんの笑顔に会えるよう言葉かけを心掛けたいですね。

さて、教育相談室では、今年度新たに2人のスクールソーシャルワーカーを迎え、お子様の育て方や発達についての悩みをもつ保護者の方やお子様自身の相談に応じています。電話やメールでの相談や、ご自宅にお伺いすることもしています。どうぞお気軽にご相談ください。

奥多摩町教育相談室

【場所】奥多摩町福祉会館2階

【開室日】月～金曜日

午前9時～午後4時

お休み土・日・祝日・年末年始

【相談の形】

○来室相談○電話・メール相談

※来室相談は、電話、FAX、メール等で予約をお願いします。

【相談例】

- ・学校生活や日常生活でのお子様への心配(学校に行けない、登校渋り、友達と上手く遊べない、困った癖があるなど)
- ・お子様の発達に関するご相談(言葉の理解や発達が遅いように感じる、勉強に意欲が出ない、学力のことが心配など)

【その他できること】

- ・福祉手当てやサービス、相談機関、医療機関などのご紹介
- ・お子様への指導・支援など

【E・FAX】(83)・2340

【メール】okusoudan@town.okutama.tokyo.jp

令和2年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

令和2年度は、年間給食回数、小学校177回・中学校181回を実施し、総食数は50,198食（小学校33,942食、中学校16,256食）を提供しました。前年と比較すると703食の増加となりました。

給食費については令和2年4月に改定し、小学校は月額、低学年（1・2年生）4,100円、中学年（3・4年生）4,400円、高学年（5・6年生）4,700円、中学校は月額5,600円としましたが、学校臨時休業が5月末まで延長され通常給食の提供がなかったため4・5月分の給食費を徴収しませんでした。学校が再開された6月以降、10か月分の給食費により給食運営を行いました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約276円となりました。収支差引残額については、次年度に繰越しをさせていただいております。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しております。

町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆様には一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

令和2年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日
(単位：円)

収入の部

| 科 目 | 予 算 額 | 収入済額 | 比較増△減 | 説 明 |
|----------|------------|------------|-------------|---|
| 1 給食費 | 15,852,200 | 14,282,920 | △ 1,569,280 | |
| 1 児童給食費 | 7,085,100 | 6,431,780 | △ 653,320 | 古里小 3,919,980 氷川小 2,511,800 過年度分 0 |
| 2 生徒給食費 | 4,188,800 | 3,752,000 | △ 436,800 | 奥多摩中 3,752,000 過年度分 0 |
| 3 職員給食費等 | 4,578,300 | 4,099,140 | △ 479,160 | 古里小 1,170,160 氷川小 1,024,400 奥多摩中 1,357,100 センター 540,320 試食等 7,160 |
| 2 繰越金 | 331,471 | 331,471 | 0 | |
| 1 繰越金 | 331,471 | 331,471 | 0 | 前年度繰越金 331,471 |
| 3 雑収入他 | 190,029 | 306,796 | 116,767 | |
| 1 雑収入 | 190,029 | 306,789 | 116,760 | 学校臨時休業対策費補助金 100,877円 弁当配布用食材料分給食費負担金 205,912円 |
| 2 その他 | | 7 | 7 | 預金利息 |
| 合 計 | 16,373,700 | 14,921,187 | △ 1,452,513 | |

支出の部

| 科 目 | 予 算 額 | 収入済額 | 比較増△減 | 説 明 |
|--------|------------|------------|-------------|-----------------------------|
| 1 主食費 | 1,934,300 | 2,117,071 | 182,771 | |
| 1 パン類費 | 589,000 | 631,981 | 42,981 | 古里小学校33回、氷川小学校35回、中学校35回 |
| 2 麺類費 | 212,800 | 201,971 | △ 10,829 | 古里小学校15回、氷川小学校15回、中学校15回 |
| 3 米穀費 | 1,132,500 | 1,283,119 | 150,619 | 古里小学校128回、氷川小学校127回、中学校131回 |
| 2 副食費 | 10,558,700 | 9,405,234 | △ 1,153,466 | |
| 1 副食費 | 10,558,700 | 9,405,234 | △ 1,153,466 | 古里小学校176回、氷川小学校177回、中学校181回 |
| 3 牛乳費 | 2,760,700 | 2,918,699 | 157,999 | |
| 1 牛乳費 | 2,760,700 | 2,918,699 | 157,999 | 古里小学校176回、氷川小学校177回、中学校181回 |
| 4 返還金 | 970,000 | 432,348 | △ 537,652 | |
| 1 返還金 | 970,000 | 432,348 | △ 537,652 | 令和2年3月分給食費返還金（保護者分） |
| 5 手数料 | 0 | 0 | 0 | |
| 6 予備費 | 150,000 | 0 | △ 150,000 | |
| 合 計 | 16,373,700 | 14,873,352 | △ 1,500,348 | |

収支差引残金

47,835円

郷土奥多摩(文化財)

その20

「日原鍾乳洞」その2

文化財保護審議会委員 梶谷 義明



入口から狭い通路を抜けて、空間が少し広くなったあたりで風の流れが緩やかになり、鍾乳洞の特徴的な地形がみられます。両サイドの壁面に棚状の窪みが水平に続いています。これは地下水が流れ、壁面を溶食したり、砂等が浸食したりした痕跡です。少し進むと、「格天井」の案内があり、格子状の亀裂の発達し

た天盤が見られません。この亀裂がさらに溶食され割れ目が大きくなると、天盤は崩れ洞窟が大きくなります。少し先に現れる「天井知れず」はまさにそうした崩壊が起きたところで、上部の奥深くまで大小の岩が積み重なっています。

旧洞は奥に向かい緩やかに傾斜していますが、昭和38年に発見された新洞は、高低差30メートルの狭く急階段の続くコースとなっています。ただ、最近まで人目に触れていないことで、鍾乳石や石筍の保存状態がよく、「竜王の間」から「獅子王の間」にかけては、写真に示すような多くの鍾乳石などを見ることができ、きつい階段を上ってきたかがあります。



新洞分岐点近くの「世紀の大断層」と呼ばれる断層には、洞壁につるつるとした鏡肌状の断層面が露出しているのが確認できます。そのほかにも断層面はいくつも観察できます。日原鍾乳洞は、この断層面に沿って雨水が侵入し、数十〜数百万年かけて洞窟を形成されたと考えられています。

・日原鍾乳洞の受難

崖崩れのためしばらく使用できなかつた大駐車場が、2018年10月から使用開始になりました。その1年後の2019年10月の台風19号で、日原街道の一部が崩落し通行ができなくなりました。半年後の5月連休後に仮設道路ができ、交互通行が可能になりましたが、鍾乳洞内の電気の漏電やトイレの冠水のため、営業再開が遅れます。7月になりやっと営業できるようになりました。

この時期は新型コロナウイルス感染症の拡大により、他県にまたがる移動自粛要請下で、都下の観光地に人が集中しました。日原鍾乳洞にも避暑を兼ねて都民がドツと押し寄せてきました。

80台ある駐車場は、営業時間前に満車になり、日原街道は大渋滞。8月の来場者は3万8千人を超えたそうです。路線バスや介護サービス車も巻き込まれ、地元住民の生活にも大きな影響を与え、通行規制をせざるをえませんでした。

日原鍾乳洞案内図



今後も観光シーズンには同様の状況が予想されます。その時期にはぜひ路線バスの利用をお勧めします。